

IoT活用推進モデル事業（留萌市上下水道課）



- 令和4年度、市内幌糠地区（令和4年度供用開始地区）に水道スマートメーターを導入し、17個を設置（令和4年度設置予定：20個）。
- 当該事業を通じて、検針業務が効率化されたほか、漏水の早期発見などの効果が見られた。

事業概要・事業の進捗状況

- 事業期間：令和4年
- 実施個所：留萌市市幌糠地区
- 事業実施状況：機材等設置、効果検証中
※令和5年度以降についても引き続き設置・検証を行う。



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)
・地理院地図を加工して作成

導入状況・設置状況

- 住宅・公共施設に設置



水道メーター・通信機器



通信機器

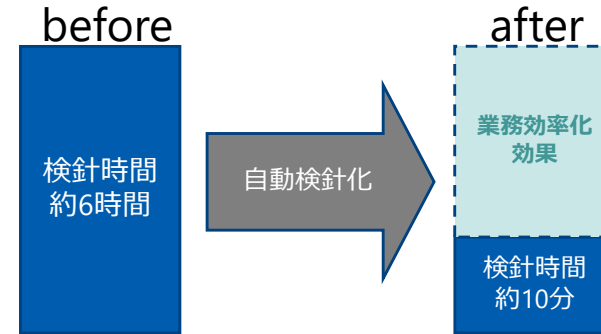
従来より約1.5m程度高い
場所に設置（約3.5m）

付加効果

- 毎日データを受信するため、漏水を早期に発見。使用者への伝達も従来より速く行うことができたため、使用者側の負担軽減につながった。
- 冬期間の悪天候の場合でも欠損なく通信できていることを確認。
- お客様サービスの向上のため、Web明細や水量の見える化などのニーズの掘り起こし。
- スマートメーターから取得できるデータの利活用方法（施設整備・維持管理の最適化など）等ニーズの掘り起こし。

業務の効率化

- 自動検針化により検針員による検針を実施しないため、検針時間削減における業務効率化が図れた。
- 天候に左右されずに検針を実施することができたため、検針を指定日に確実に実施できるようになった為、検針の最適化を図れた。
- 誤検針など人為的ミスや積雪によるみなし検針が解消され正確な料金賦課が可能。



他事業者へ共有すべき事項

- 豪雪・寒冷地における設置方法や通信品質、耐久性などこれからも検証していく必要がある。
- データの取得頻度や利活用目的などに応じた通信方式（単方向通信・双方向通信）の選択が必要である。
- 自動検針化と同時に検針票などの紙媒体の電子化の検討もしていく必要がある。

問合せ先

留萌市都市環境部上下水道課営業係
TEL: 0 1 6 4 - 4 2 - 5 1 5 1 / Email: suidou@e-rumoi.jp